

1. 令和五年度 活動報告

1.1. 委員会について

令和五年度は下記の体制にて活動した(敬称略・五十音順)。

- | | | |
|-------|---------------------|------------------|
| 委員長: | 小野順貴 (東京都立大学) | |
| 副委員長: | 西浦敬信 (立命館大学) | 梶川嘉延 (関西大学) |
| 幹事: | 若山圭吾 (日本電信電話) | 伊藤信貴 (東京大学) |
| 幹事補佐: | 中山雅人 (大阪産業大学) | 矢田部浩平 (東京農工大学) |
| 委員: | 井本桂右 (同志社大学) | 岩居健太 (立命館大学) |
| | 岡本 学 (崇城大学) | 折本寿子 (県立広島大学) |
| | 加古達也 (日本電信電話) | 北村大地 (香川高専) |
| | 木下慶介 (Google) | 小泉悠馬 (Google) |
| | 小松達也 (LINE ヤフー) | 小山翔一 (国立情報学研究所) |
| | 阪内澄宇 (日本電信電話) | 佐々木陽 (日本放送協会) |
| | 島内末廣 (金沢工業大学) | 藪田光太郎 (長崎大学) |
| | 武岡成人 (静岡理工科大学) | 谷川将規 (清水建設) |
| | TREVINO Jorge (ヤマハ) | 中村友彦 (産業技術総合研究所) |
| | 林田亘平 (パナソニック) | 藤坂洋一 (リオン) |
| | 古家賢一 (大分大学) | 松井健太郎 (日本放送協会) |
| | 水町光徳 (九州工業大学) | 宮崎亮一 (徳山高専) |
| | 森川大輔 (富山県立大学) | 渡邊貫治 (秋田県立大学) |

1.2. 研究会について

下表の通り、令和五年度は全 6 回の研究会を開催した。5 月はオンライン開催、7 月、8 月、11 月、12 月は現地開催、3 月は現地とオンラインのハイブリッド形式にて開催した。講演件数、頁数、参加者数は昨年度と比べてやや減少した。6 月には、前年に引き続き情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛した。11 月には、前年度に引き続き学生セッションを実施し、電気音響研究会学生研究奨励賞を 1 名に授与した。12 月には、超音波研究会との併催で音響・超音波サブソサイエティ会議を開催し、音響・超音波サブソサイエティ学生研究奨励賞を 2 名に授与した。3 月研究会は、第 10 回 SPEASIP(音声・音響・信号処理ワークショップ)として開催し、議論を目的とした発展途上の研究発表や研究紹介を想定したショート・オーラル発表(APSIPA Japan Chapter 主催)を前年度に引き続き実施した。

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催*1	件数	頁数	参加者数
月	日	曜日						
4			休会					
5	25		オンライン	応用/電気音響		3	20	9
6			休会					

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催*1	件数	頁数	参加者数
月	日	曜日						
	(23) (24)		(電気通信大学)		(情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛)			
7	2 3		北海道大学	応用/電気音響、聴覚、音声、音楽音響、音響教育	日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)、音楽音響研究会(ASJ-MA)、音声研究会(ASJ-SP)、音響教育委員会共催	15	77	52 42
8	8/31 9/1		東北学院大学	応用/電気音響、聴覚	日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)共催	10	60	46 41
9			休会					
10			休会					
11	23 24		大学コンソーシアム富山	<ビギナーズセッション>応用/電気音響、コンテンツ処理、情報ハイディング、聴覚	電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(IEICE-EMM)、日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)共催*2	21	112	47 41
12	22 23		九州大学	応用/電気音響、超音波	<音響・超音波サブソサイエティ合同研究会>電子情報通信学会/日本音響学会超音波研究会(IEICE/ASJ US)(併催)	25	72	45 44
1			休会					
2			休会					
3	2/29 3/1		沖縄産業支援センター(ハイブリッド開催、主:現地、副:オンライン)	音声、応用/電気音響、信号処理	電子情報通信学会音声研究会(IEICE-SP)、信号処理研究会(IEICE-SIP)共催、情報処理学会音声言語情報処理研究会(IPSJ-SLP)連催	90	426	154
合計*3						164 (177)	767 (830)	521 (596)

*1 APSIPA Japan Chapter は毎回共催、IEEE SPS Tokyo Joint Chapter は毎回協賛

*2 電子情報通信学会北陸支部、日本音響学会北陸支部は11月協賛

*3 括弧内の数字は昨年度の実績

1.3. 研究発表会および大会について

日本音響学会秋季研究発表会は名古屋工業大学、春季研究発表会は拓殖大学にて開催され、前年度に引き続き盛況であり、下記の講演件数であった。

2023年秋季:110件(うちポスター70件)

2024 年春季:94 件(うちポスター72 件)

合計:204 件(うちポスター142 件)

また、電子情報通信学会ソサイエティ大会は名古屋大学、総合大会は広島大学にて開催され、下記の講演件数であった。

2023 年ソサイエティ大会:4 件

2024 年総合大会:13 件

合計:17 件

2. 令和六年度 活動計画

2.1. 委員会について

令和六年度の体制については、学会の承認が得られ次第、更新する方針であるが、新幹事団の体制は以下の予定である(敬称略・五十音順)。

委員長： 小野順貴 (東京都立大学)

副委員長： 西浦敬信 (立命館大学) 若山圭吾 (日本電信電話)

会計幹事： 伊藤信貴 (東京大学)

企画幹事： 坂東宜昭 (産業技術総合研究所) ※新任

幹事補佐： 北村大地 (香川高専) ※新任 木下裕磨 (東海大学) ※新任

専門委員については、以下の退任・新任者を予定している(敬称略・五十音順)。

[退任予定者]

折本寿子 (県立広島大学)

藪田光太郎 (長崎大学)

谷川将規 (清水建設)

TREVINO Jorge (ヤマハ)

水町光徳 (九州工業大学)

[新任予定者]

梶川嘉延 (関西大学)

喜多俊輔 (大阪産業技術研究所)

李莉 (サイバーエージェント)

2.2. 研究会について

下表の通り、令和六年度は全 6 回(オンライン、北海道、東北、北陸、中国・九州、未定) の研究会を開催する計画である。例年通り 6 月には情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムへの協賛も行う。音響・超音波サブソサイエティ合同研究会は、本年度と同じく 12 月に開催し、ポスター発表に対する音響・超音波サブソサイエティ学生研究奨励賞の選奨を実施する。

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催*4	発表 件数 見込
月	日	曜日				
4			休会			
5	22		オンライ ン	応用/電気音響	単独開催	20
6			休会			

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催*4	発表 件数 見込
月	日	曜日				
			(日本大 学)		(情報処理学会音楽情報科学研究会音学シン ポジウムに協賛)	
7	6 7		北海道	応用/電気音響、 聴覚、音声、音 楽音響、音響教 育	日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)、音楽音響 研究会(ASJ-MA)、音声研究会(ASJ-SP)、音響 教育委員会共催	30
8			東北	応用/電気音響、 聴覚	日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)共催	20
9			休会			
10			休会			
11			北陸	<ビギナーズセッ ション>応用/電 気音響、コンテン ツ処理、情報ハ イディング、聴覚	電子情報通信学会マルチメディア情報ハイデ ィング・エンリッチメント研究会(IEICE-EMM)、 日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)共催	30
12			中国・九 州	<音響・超音波サ ブソサイエティ合 同研究会>応用/ 電気音響、超音 波	電子情報通信学会/日本音響学会超音波研究 会(IEICE/ASJ US) (併催)	20
1			休会			
2			休会			
3			未定	<SPEASIP 音声・ 音響・信号処理 ワークショップ> 音声、応用/電気 音響、信号処理	電子情報通信学会音声研究会(IEICE-SP)、信 号処理研究会(IEICE-SIP)共催、情報処理学 会音声言語情報処理研究会(IPSJ-SLP)連催	60
合計						180

*4 APSIPA Japan Chapter は毎回共催予定、IEEE SPS Tokyo Joint Chapter は毎回協賛予定

2.3. 研究発表会および大会について

例年通り、日本音響学会秋季および春季研究発表会、ならびに電子情報通信学会ソサイエティ大会および総合大会のプログラム編成に関わる方針である。

以上